【公報種別】公開特許公報の訂正 【部門区分】第3部門第2区分 【発行日】平成10年(1998)1月6日

【公開番号】特開平9-59134

【公開日】平成9年(1997)3月4日

【年通号数】公開特許公報9-592

【出願番号】特願平7-241017

【訂正要旨】明細書誤載につき下記の通り全文を訂正する。

【国際特許分類第6版】

A61K 7/075 9550-4C C11D 1/28 9546-4H 3/20 9546-4H 3/22 9546-4H 3/37 9546-4H

【記】別紙のとおり

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-59134

(43)公開日 平成9年(1997)3月4日

(51)Int.Cl. ⁶ A 6 1 K C 1 1 D	7/075 1/28 3/20 3/22	識別記号	庁内整理番号	FΙ	技術表示箇所
	3/37			•	審査請求 未請求 発明の数12(全 11 頁)
(21)出願番号		特願平7-241017		(71)出願人	三口産業株式会社
(22)出顯日		平成7年(1995)8	月24日	(71)出願人	大阪府大阪市天王寺区玉造本町 6番 5 号 000227272 日 数化學株式会社 大阪府大阪市淀川区三津屋北 3 丁目 3 番29 号
				(72)発明者	島 計雄 大阪府大阪市天王寺区真田山町 5 -36- 902
				(72)発明者	山口 将史 大阪府寝屋川市境橋町10番7号
				(74)代理人	弁理士 奥村 茂樹 最終頁に続く

(54) 【発明の名称 】 洗髪剤組成物

(57)【要約】

【目的】 指通りが良好で、損傷毛髪に対して損傷の進行を抑制する洗髪剤組成物を提供する。

【構成】 この洗髪剤組成物は、アルケニルコハク酸糖エステル塩、糖類、アニオン界面活性剤及びカチオン化ポリマーを含有する。所望により、更に両性界面活性剤、ノニオン界面活性剤及び/又はカチオン界面活性剤を含有していてもよい。各成分の配合量は、アルケニルコハク酸糖エステル塩0.1~20重量%、糖類0.1~45重量%、アニオン界面活性剤1.5~20重量%、カチオン化ポリマー0.1~5重量%であるのが好ましい。任意的に含有される成分については、両性界面活性剤が20重量%以下、ノニオン界面活性剤が5重量%以下及びカチオン界面活性剤が5重量%以下であるのが好ましい。この洗髪剤組成物は、水溶液形態で製造及び販売され、一般的に水を所定量(所定重量%)含有している。なお、上記した各成分の重量%の合計は、100重量%以下である。